

消防大学校における教育訓練等に関する検討会（第3回）  
議事概要

- 1 日 時 令和8年2月27日（金） 15:00～15:55
- 2 場 所 消防研究センター中会議室
- 3 出席者（敬称略）  
[座長] 吉田悦教  
[委員] 上田伸次郎、大塚大輔、岡本優司、金子裕一郎、  
下重美佐男（西滝氏代理出席）、瀬川浩樹、田中雄章、千葉周平、  
西本和人、道園由紀

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 意見交換
  - ① 報告書（案）について
  - ② その他
- (3) 消防大学校長挨拶
- (4) 閉会

5 議事概要

事務局から配付資料に関する説明の後、質疑応答を交え、報告書（案）について議論した。委員の主な発言は以下のとおり。

- (1) 第1章 2 時代に即した学科・コースの展開  
（消防分野における女性の活躍促進）

【委員】

消防庁で行っていた検討会が昨年12月に報告書を公表し、また、今年1月に「将来的には女性比率10%を目指しつつ、当面採用者に占める女性の割合を5年以内に10%を目指す」という形で目標を設定して全国に通知をしている。こちらの報告書が後から公表されるので、これらの記述にも触れていただきたい。

- (2) 第1章 4 都道府県消防防災部局・消防学校との連携  
（消防団幹部に対する教育訓練体制の充実）

【委員】

分団長等が高度な教育訓練を受けることができるよう体制を充実させていく具体的な例が挙げられているが、実際に消防学校で消防団幹部を教育できるように、消防大学校としてカリキュラムに盛り込むような計画が存在したり、働きかけがあったりするのかな。

【事務局】

消防学校に対しては、消防庁から「教育訓練の基準」というものが示されており、およそ全ての消防学校において実施している現場指揮課程・分団指揮課程を通じて、消防団幹部に対して教育訓練を行うことができるような教官を、消防大学校が現任教官科、新任教官科において育てていくイメージである。